

しろいし

shiroishi city council paper

市議会だより

2023年

SPRING 春

第209号

東北に桜前線の到来を告げる 早咲きの桜
常林寺のエドヒガン（白石市指定 天然記念物）



2～4P 2月定例会の概要・審議した議案

4～7P 予算審査特別委員会

7～8P 常任委員会

8～9P 討論

10P 議案の賛否一覧・特別委員会報告

10～15P 市政に対する一般質問(10名)

16P 人事・意見書・議会の活動状況・編集後記

2月定例会

令和5年度一般会計当初予算 173億9千345万円を可決

令和5年2月定例会は、2月20日から3月10日までの19日間の日程で開催されました。定例会初日、市長提出議案は、人事2件、専決1件、条例等23件、予算14件の計40件でした。市長の施政方針を受け、その後、すべての議案の提案理由の説明が行われ、このうち第1号議案から第3号議案は採決の結果、全会一致で同意・承認しました。

2日目、第4号議案から第40号議案までの質疑が行われ、第9号議案については総務産業建設常任委員会に、予算の14議案は、予算審査特別委員会に審査が付託されました。その他の議案は、2日目に表決まで行われ、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。その他の議案は、2日目に表決まで行われ、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

一般質問は、3月7日・8日・9日の3日間で、10名の議員が質問を行いました。

定例会最終日(3月10日)の本会議において、各委員長報告を行なった後、第34号議案および第35号議案については反対および賛成の討論があり、採決の結果、第34号議案については賛成多数で可決、第35号議案については可否同数となり、議長裁決により原案のとおり可決しました。また、残る議案については、全会一致で原案のとおり可決しました。

最終日、市長提出議案2件(第41号議案および第42号議案)が追加提案され、質疑を経て、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

同日、議員提出議案2件(議提第1号および議提第2号)が上程され、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。



市長の提案理由説明

審議した議案の主なものは次のとおりです。

条例等

◎白石市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例

近年の環境に対する意識の高揚や、ゼロ・カーボン社会の実現に向けた再生可能エネルギー施策の推進により、再生可能エネルギー発電設備の設置が全国的に増加する一方、不十分な施工

による災害発生の恐れや、立地地域でのトラブル、山林伐採による自然や景観破壊、事業終了後の設備放置に係る懸念等が課題となっています。

本市においても再生可能エネルギー発電設備の設置や計画があることから、本市の豊かな自然環境、美しい景観および安全安心な生活環境の保全と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和を図るため、条例を制定するものです。

2月定例会で審議した議案

議案番号	件名	審議結果
第1号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
第3号	専決処分承認を求めることについて(専決第1号)(令和4年度白石市一般会計補正予算)	承認
第4号	宮城県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更について	原案可決
第5号	宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会を共同で設置する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会共同設置規約の変更について	原案可決
第6号	宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会を共同で設置する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会共同設置規約の変更について	原案可決
第7号	白石市外二町組合規約の変更について	原案可決
第8号	白石市個人情報保護法施行条例	原案可決
第9号	白石市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例	原案可決
第10号	白石市部設置条例の一部を改正する条例	原案可決
第11号	白石市民バス条例の一部を改正する条例	原案可決
第12号	白石市公の施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第13号	白石市地籍調査実施委員会条例を廃止する条例	原案可決
第14号	白石市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第15号	簡易給水施設補助金交付に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第16号	白石市道路占用料条例の一部を改正する条例	原案可決
第17号	白石市公共物管理条例の一部を改正する条例	原案可決
第18号	財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第19号	白石市材木岩公園等設置条例の一部を改正する条例	原案可決

予 算

◎令和4年度白石市病院事業 会計予算

公立刈田綜合病院は、令和5年度から市立病院として、管理運営を指定管理者に委託するため、令和5年度以降に負担する指定管理者委託料、経営基盤強化交付金、給与特例措置交付金および地域医療確保交付金の債務負担行為を設定するものです。

◎令和4年度白石市一般会計 補正予算(第9号)

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ5億6千749万8千円追加し、予算総額を198億948万円とするものです。

主な内容は、不登校特例校の開校に向けた準備事業、白石みらい教育基金積立金、スマートインターチェンジ整備事業などの経費を計上するものです。

◎令和5年度白石市一般会計 予算

予算総額は、173億9千345万円で、前年度と比較すると18.2%の増となります。

主な内容は次のとおりです。

○不登校特例校開校運営事業
2千813万9千円

○結婚新生活支援事業
960万円

○オンライン申請システム
導入事業
800万円

○子育て支援事業
183万9千円

○橋梁長寿命化対策事業
10億6千550万円

○スマートインターチェンジ
及び周辺施設整備事業
5億9千923万8千円

○白石沖西堀線街路事業
530万円

○総合型地域スポーツクラブ
運営支援事業
100万円

議 員 提 案

◎白石市議会の個人情報の保護 に関する条例

令和5年4月から、個人情報の保護に関する法律が改正され、国、地方公共団体、民間事業者等における個人情報保護制度の一本化が図られることになりました。

しかし、議会は国会や裁判所と同様、自律的な対応のもと、個人情報保護の保護が図られることが望ましいとの観点から、改正後の法が定める規律の適用の対象とされないため、新たに条例を制定するものです。

第20号	白石市都市公園条例の一部を改正する条例	原案可決
第21号	こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
第22号	白石市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
第23号	白石市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
第24号	白石市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
第25号	白石市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
第26号	白石市道路線の認定について	原案可決
第27号	令和4年度白石市病院事業会計予算	原案可決
第28号	令和4年度白石市一般会計補正予算(第9号)	原案可決
第29号	令和4年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	原案可決
第30号	令和4年度白石市介護保険特別会計補正予算(第5号)	原案可決
第31号	令和4年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	原案可決
第32号	令和4年度白石市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
第33号	令和4年度白石市下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
第34号	令和5年度白石市一般会計予算	原案可決
第35号	令和5年度白石市国民健康保険特別会計予算	原案可決
第36号	令和5年度白石市介護保険特別会計予算	原案可決
第37号	令和5年度白石市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
第38号	令和5年度白石市水道事業会計予算	原案可決
第39号	令和5年度白石市下水道事業会計予算	原案可決
第40号	令和5年度白石市病院事業会計予算	原案可決
第41号	令和4年度白石市一般会計補正予算(第10号)	原案可決
第42号	令和5年度白石市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
第1号	議員提案	原案可決
第2号	白石市議会の個人情報の保護に関する条例 学校給食費の無償化を求める意見書	原案可決

本会議質疑より

◎令和5年度白石市一般会計
予算

〔質疑〕令和5年度の予算編成に当たっての所感を伺う。

〔答弁〕令和5年度は、公立刈田綜合病院が市立病院として新たなスタートを切るとともに、4月から小中一貫の不登校特例校「白石きぼう学園」が開校する。第六次白石市総合計画に掲げる「人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまちしろい」という大きな将来像の実現に向け、新たなスタートを切る大きな1年になると考える。

人口減少、少子高齢化など積る課題に積極的にチャレンジするとともに、市民の暮らしを守り、新たな社会経済の確立を推進できるよう全力で取り組んでいく。

〔質疑〕不登校特例校の開校に当たり、改めて教育長の意気込みや思いを伺う。

少子化にあっても不登校の子どもは増加傾向にあり、市内外、県外からもこの学校に入りたいとの問い合わせがほぼ毎日のようにある。4月に開校する「白石きぼう学園」が、不登校の子どもたちにとって居場所の一つになればと考える。

入ってよかった、通わせてよかったと思えるような学校を目指し、今後も努力を続けていきたいと考える。

◎令和4年度白石市病院事業
会計予算

〔質疑〕給与と特例措置交付金の算定基準について伺う。

〔答弁〕令和5年3月31日まで公立刈田綜合病院に勤務した医師を除く正規職員のうち、引き続き指定管理者に採用された正規職員を対象とし、退職時給与と就職後給与（給料＋固定的手当）との差額をもとに積算する。

令和5年度は差額の100%、令和6年度は75%、令和7年度は50%の保障を考えている。

予算審査特別委員会

第27号議案・令和4年度白石市病院事業会計予算から第40号議案・令和5年度白石市病院事業会計予算までの計14議案について、定例会2日目（2月27日）の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会（委員長・平間知一、副委員長・佐藤秀行）は、2月28日に現地を調査し、3月2日までの3日間にわたり審査を行いました。

その結果、第34号議案・令和5年度白石市一般会計予算および第35号議案・令和5年度白石市国民健康保険特別会計予算については、反対の討論があり、採決の結果、いずれの議案も賛成多数で可決、残る議案については、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎令和4年度白石市病院事業
会計予算

〔質疑〕診療科目としてどのようなものが地域医療確保交付金の対象となるのか伺う。

〔答弁〕周産期医療や小児科医療等、地域医療の不採算部門が対象である。地域医療の機能確保のため、分娩が行われる体制の確保が整ったことを条件に交付したいと考えている。

◎令和4年度白石市国民健康
保険特別会計補正予算
（第5号）

〔質疑〕国民健康保険税の歳入が減額となっているが、被保険者の状況を伺う。

〔答弁〕令和4年12月末現在の被保険者数は4千741世帯・7千57人で、令和3年度末と比較すると142世帯・286人の減となっている。

総務費

◎令和5年度白石市一般会計
予算

〔質疑〕文書広報配布・行政事務連絡等委託料について、自治会長が受け取る手数料は、所得税の課税対象となる場合があると考えられるが、この取り扱いに対する市の考えや対応を伺う。

〔答弁〕市は白石市自治会連合会と業務委託契約を結び、毎月の広報紙や文書等の配布、事務連絡等の業務を委託している。

市は、これまでも自治会連合会に対し、自治会長が受け取る手数料について、適切な取り扱いをお願いしているところである。

〔質疑〕本年3月31日から休館するスパシユランドしろいの施設管理委託料に1千500万円が計上されているが、内容を伺う。

〔答弁〕施設管理委託の主な内容は、火災報知機等の消防設備保守点検費用、浄化槽等衛

令和5年度 一般会計予算

(単位：千円・%)

歳 出			予 算 額	構 成 比
款 別				
1. 議 会 費			157,290	0.90
2. 総 務 費			3,044,350	17.50
3. 民 生 費			5,309,364	30.53
4. 衛 生 費			2,379,053	13.68
5. 労 働 費			1,617	0.01
6. 農 林 水 産 業 費			283,739	1.63
7. 商 工 費			404,739	2.33
8. 土 木 費			2,728,639	15.69
9. 消 防 費			494,813	2.84
10. 教 育 費			1,299,086	7.47
11. 災 害 復 旧 費			3,013	0.02
12. 公 債 費			1,271,856	7.31
13. 予 備 費			15,891	0.09
合 計			17,393,450	

令和5年度 各会計予算

(単位：千円・%)

会 計 別	令和5年度 予 算 額	令和4年度 予 算 額	令和4年度 当初予算比
一 般 会 計	17,393,450	14,720,250	18.2
特 別 会 計	8,258,014	8,231,871	0.3
会 計 内 訳			
国民健康保険	3,791,513	3,785,568	0.2
介護保険	4,002,216	3,983,048	0.5
後期高齢者医療	464,285	463,255	0.2
合 計	25,651,464	22,952,121	11.8

企業会計

水 道 事 業 会 計	1,272,464	1,145,042	11.1
下 水 道 事 業 会 計	1,810,131	1,821,954	△ 0.6
病 院 事 業 会 計	1,601,577	—	—

※企業会計については収益的支出+資本的支出額

商 工 費

生機器類の清掃と保守点検費用、電気工作物の保守費用、機械警備に要する費用、その他通信、光熱水費、施設周辺整備に要する費用である。

〔質疑〕集会所等建設事業補助金に1千万円が計上されているが、内容について伺う。

〔答弁〕令和5年度集会所補助金に、増築改築分として2件、内訳は集会所1件、消防詰所1件を見込んでいる。また、改修・修繕分として5件、内訳は集会所3件、消防詰所2件を見込んでいる。

〔質疑〕老朽化施設解体撤去工事として1億9千万円が計上されているが、内容について伺う。

〔答弁〕旧いきいきプラザの解体と、アスベストの撤去工事である。

〔質疑〕白石スキー場運営費貸付金として1千200万円を計上している理由を伺う。

〔答弁〕ここ数年雪に恵まれ、収益も上がっているが、スキーシーズンオフになると収入を得るような事業がないことから、NPO法人に対し貸し付けを行うものである。

土 木 費

〔質疑〕河川浚渫(しゅんせつ)事業に2千万円計上しているが、事業の内容について伺う。

〔答弁〕近年の気候変動に伴う豪雨の頻発化、激甚化を見据え、河川を安全で良好な状態に保つことは、河川管理者として重要な事前防災の一つであることから、令和2年度から新たに創設された緊急浚渫推進事業により、堆積土砂を取り除く工事を実施している。

令和4年度は沢端川の調査設計が完了し、舘掘川、沢端川の工事着手に向けて準備している。また、福岡地区の三本木川の調査を実施する予定である。

〔質疑〕道の駅整備事業について、道の駅の全体像はいつ頃見えてくるのか伺う。

〔答弁〕道の駅のエリアについては確定してきており、現在、造成設計をしているところである。最終的な建物の配置や駐車場のレイアウト等については、PFI事業者選定後に実施設計を行なっていたり計画であることから、令和6年度以降になるかと考えている。

民 生 費

〔質疑〕生きがいデイサービス事業については、これまでのスパシユランドしろいしに代えて、ホワイトキューブと薬師の湯において、週替わりで実施することだが、利用者にとっての魅力あるプログラムについて、どのように考えているのか。

〔答弁〕利用者にニーズ確認を行なったところ、「一番好きなこと、楽しみにしていること」は、「レクリエーション活動等」が42.9%。「気の合うグループやメンバーでおしゃべり・雑談」が42%、「入浴」が11.6%、「昼食等」が3.5%という結果であった。

多くの方が人との関わりやコミュニケーションを楽しむに利用していることから、入浴にこだわらず場所の調整を行なったところである。

また、ホワイトキューブ主催で、既に介護予防講座を実施しておりノウハウを持っていくことから、4月以降の内容については、白石市文化体育振興財団を中心に協議を進めている。

〔質疑〕 知育絵本贈呈事業の内容を伺う。

〔答弁〕 公益社団法人日本青年会議所で推進しているペーパーファースト運動の趣旨に賛同し、令和4年12月に市長が活動宣言を行なったことから、新たな取り組みとして、1歳6カ月から2歳の子どもに、「世界に一つだけの特別な絵本」を贈呈する事業である。

絵本の中に子どもの名前や好きな動物・食べ物などを取り入れ、子ども自身が物語の主人公となる絵本を作成し贈呈することで、読み聞かせ等を通し親子の愛情を深め、また思い出づくりにもなるものと考ええる。

衛生費

〔質疑〕 病院事業運営費貸付金として2億円を計上しているが、内容を伺う。

〔答弁〕 刈田病院の運営において、診療報酬は大きな収入源であるが、4月診療分の診療報酬は6月下旬に入金となることから、その間の職員への給与の支払い、年度当初から必要となる委託や賃貸借契約等に伴う支払い、外来患者の受け入れ体制の確保等、収益を上げるためには多額の費用を要することから、指定管理者からの申し入れにより貸し付けを行うものである。

金などを活用しながら地域の活性化を目指した取り組みを行なっている。

これに伴い、各公民館の役割、負担は増えており、委託料を上げるよう申し入れもあつたと聞けが、長年変わらない人件費等について、どのように精査したのか伺う。

〔答弁〕 令和4年8月、各地区のまちづくり協議会からなる白石まちづくり連合会より、教育委員会あてに公民館事業に係る要望書を提出いただいた。報酬や人員体制の見直しに関する要望内容について検討・協議した結果、臨時職員については賃金単価を増額、公民館長および事務長給与等については、他の施設との整合性についても検討を行う必要があることから、今回は従来と同様の水準で指定管理委託料を計上させていた。

民間の給与等も上がってきていることから、今後も引き続き検討していきたいと考える。

〔質疑〕 令和5年4月から給食費を値上げすることだが、内容について伺う。

〔答弁〕 給食費については平成21年度以降、単価を上げないで来たが、食材の高騰により維持ができなくなってきたことから、小学校で1食276円を317円に、中学校で332円を384円に、幼稚園の副食で200円を230円に値上げを行うものである。

〔質疑〕 保護者への周知はどのように行なったのか。また、異論などはなかったのか。

〔答弁〕 保護者会等での説明の要望があつた学校には直接出向いて説明を行い、全保護者に対しては、本年1月に給食費改定の通知を行なった。説明会では質問等はなく、思うところはあつても、やむを得ないだろうということころであると理解している。



◎令和5年度白石市国民健康保険特別会計予算

〔質疑〕 国民健康保険事業における財政調整基金の残高について伺う。

〔答弁〕 1月末の基金残高は、約4億286万8千円であるが、歳入不足のため、令和4年度予算の基金繰入に1億1千400万円を計上していることから、令和4年度末の基金残高は2億8千880万円程度になる見込みである。

〔質疑〕 一般会計繰入金の職員給与費等繰入金について、昨年度はこの項目がなかったが、その理由について伺う。

〔答弁〕 これまで一般職員給与費等は一般会計から支出しており、歳入不足を充足する特別調整交付金や財政調整基金からの繰り入れも見込めたことから、一般会計からの繰り入れは行なっていないが、財政調整基金残高の減少や令和5年度の税率改正にあたり、急激な税率上昇を抑え、被保険者の負担を軽減するため、会計年度任用職員の給与や一般事務費相当について繰り入れを行うものである。

教育費

〔質疑〕 公民館指定管理者委託料について、各地区においては第六次白石市総合計画「人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまちしろいし」の実現に向け、未来共創交付金、まちづくり交付

金などを活用しながら地域の活性化を目指した取り組みを行なっている。

◎令和5年度白石市水道事業
会計予算

〔質疑〕予算に計上されている配水量及び漏水調査業務について、漏水を減らす効果はあるのか伺う。

〔答弁〕漏水箇所は毎年100件を超えており、有収率向上対策として、平成29年から配水量の分析と漏水調査を継続して行なっている。

令和4年3月16日の地震以降、有収率が落ちており、エリアを絞りながら調査を行なっているが、大きく漏水を発見できていないことから、今後も夜間流量等を勘案し調査を行い、漏水量の減少に努めていきたい。

◎令和5年度白石市病院事業
会計予算

〔質疑〕診療科目は確定しているのか伺う。

〔答弁〕現在、指定管理者である仁誠会において、現行の診療体制の維持と連携プランの推進に必要な診療科目から段階的に構築していくことを進めている。市民の皆様には、広報しろいし4月号でお知らせする予定である。

予算審査特別委員会の現地視察



白石沖西堀線街路事業



橋梁長命化対策事業(白石駅歩道橋)

常任委員会

第4号議案から第26号議案までの計23議案について、定例会初日終了後、各常任委員会(付託協議)を開催し、第9号議案・白石市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例を総務産業建設常任委員会に付託することに決定しました。

定例会2日目(2月27日)の本会議において質疑が行われた後、総務産業建設常任委員会に審査が付託され、3月3日に議案の審査が行われました。

質疑応答を経て、採決の結果、第9号議案は全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な内容は次のとおりです。

総務産業建設常任委員会

委員長 菊地 忠久

副委員長 森 建人

委員 澁谷政義・高橋純斎

小川正人・保科善一郎

大森貴之・角張一郎

◎白石市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例

〔質疑〕この条例の適用を受ける事業の基準は、「発電出力10キロワット以上の事業と規定されている。」

これまでは、白石市太陽光

発電設備設置事業指導要綱により「設置区域の面積が5千平方メートル以上の発電設備設置事業」を指導の対象事業としており、本条例とは適用を受ける事業の範囲が異なるが、その理由を伺う。

〔答弁〕再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法施行規則で規定された、産業用の基準である10キロワット以上の事業をこの条例の適用を受ける事業としたものである。

〔質疑〕事業者が事業を実施す

る場合に、説明会を開催しなければならぬとする「自治会等の活動区域に居住する者」と、「事業による影響を受ける可能性を有する区域に居住する者」の範囲を伺う。

〔答弁〕発電設備の設置場所や設備等により、自然環境、生活環境、景観など、事業の影響を受ける可能性が異なることから、説明会対象区域の範囲を事業区域から何メートル以内などと定義していないが、多くの住民に説明会に出席してもらうように、事業者には広く周知を行なっていたとご意見を伺う。

〔質疑〕条例の対象となる「再生可能エネルギー源」とは、何を想定しているのか伺う。

〔答弁〕主に太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電、バイオマス発電を想定している。

〔質疑〕この条例に「事業者は、地域振興に寄与するよう努めなければならない」とあるが、どのようなことが地域振興につながるかと考えているのか伺う。

〔答弁〕事業者が長期にわたり安定的な事業を行うため、住民等とのコミュニケーションを図り、地域の要望を把握し、その要望に対応することで、事業者と住民等の信頼関係を構築することが地域振興につながるものと考えている。

〔質疑〕事業実施協議に係る審査は、「必要に応じて白石市環境基本条例で定める白石市環境審議会の意見を聴くことができる」と規定しているが、「必要に応じて」とはどのようなケースを想定しているのか伺う。

〔答弁〕条例で定める抑制区域に入っていないが、実施事業に対する住民等の反対意見が多い場合や、災害発生の可能性があるといった専門職員からの意見が出た場合などに、審議会の意見を聴くことを想定している。



討論

予算審査特別委員会(3月2日)と定例会最終日(3月10日)において、第34号議案および第35号議案に対する討論が行われました。

定例会最終日に行われた討論の主な内容は、次のとおりです。(紙面の都合上、要約しています。)

◎ 第34号議案、令和5年度白石市一般会計予算

反対 伊藤 勝美

本年4月より市立病院となる公立刈田綜合病院については医師数、看護師数、診療科目などが明確にされず、何が実現され、何が実現されないのか、いまだに明らかになっていない。職員に現給保障はされるが、賞与分は対象外であり、2年目以降から給与全体は減少することから、病院を支える有能な人材や若い職員の離

職を招くことにならないか危惧される。病院を支えてもらうためにも、職員に新たな支援策を講じる必要があると考える。また、病院事業運営費貸付金2億円についての説明を受けたが、疑問符を付けざるを得ない。

給食に係る賄材料費の高騰により、学校給食費が値上げされる。一方で、財政が厳しい状況下でありながら、保護者負担を軽減しようと知恵を出し、考え、工夫し、財源を捻出している自治体もある。しかし、本市は賄材料費の上昇分を保護者負担とし、給食費を値上げすることは誠に残念である。今回の値上げが保護者の思いを反映しているのか疑問であり、子育て世帯の生活が厳しくなっているこの時期に値上げを行うことは理解に苦しむところである。

子ども医療費助成の対象年齢については、県内33自治体で18歳としているが、本市は15歳となっていることから、早急に18歳までの医療費助成を求める。

公民館指定管理者委託料については、令和4年8月、「白石まちづくり連合会」から、長年据え置かれていた人件費等の給与の見直しを求める要望書が提出されている。しかし、予算案では館長と事務長の処遇は据え置かれ、職員の賃金はわずかに改善されているが十分とは言えず、地域に尽力している公民館職員の期待と努力に報いることはできないと考える。

文書広報配布・行政事務連絡等委託料約2千100万円について、「白石市自治会連合会」に委託しているとはいえ、委託業務の処理に指導不足が否めず、市がその責任を果たしているのか納得できる答弁がなく、特に税の公平性については疑問を払拭することができない。

以上の理由から、第34号議案に反対である。

賛成 四電 英夫

令和5年度一般会計予算案は、予算総額173億9千345万円、昨

年度と比較すると18.2%の増となっており、3年続けてプラス予算となっている。

一方、歳出は新型コロナウイルス感染症の不安は残るものの、それらを大きく上回る市立病院事業への負担金補助金、不登校特例校「白石きぼう学園」の運営事業、橋梁長寿命化対策事業、スマートインターチェンジ整備事業、道の駅整備事業、結婚新生活支援事業、子育て支援事業、総合型地域スポーツクラブ運営支援事業に要する経費などが増額の要因となっている。そのような中、住民票、納税証明書などのオンライン申請を可能とするシステム導入委託料のほか、すすくすくベビー券贈呈事業の拡充、知育絵本贈呈事業など、厳しい予算の中、市民ファーストの温かさが感じられる予算となっている。

一方、歳入においては、新型コロナウイルス感染症の不安は残るものの、実績を考慮し、市税、

使用料の増額を見込み、譲与税、交付金も予算額が過剰にならないように配慮したものと なつてゐる。

また、公共施設等総合管理計画の個別施設計画に基づき、旧いきいきプラザと旧老人福祉センターの除去に要する予算を計上し、計画を実効性のあるものになっている。

本年度予算案は、限られた財源の中、持続可能な白石市を作り上げていくためには課題を先送りしないという、市長はじめ、市職員の強い意気込みと収支のバランスを考慮した内容であり、市民生活の発展と地域経済の活性化を図るための効果が大きいと期待できるものとなっている。

白石きぼう学園の開校、白石市立病院のスタート、(仮称)白石スマートインターチェンジと周辺整備事業の本格化など、本市の今後を占う「分水嶺(ぶんすいれい)の予算」であり、「人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまちしろいし」の実現に向けた予算である。以上の理由から、第34号議案に賛成である。

◎第35号議案・令和5年度白石市国民健康保険特別会計予算

反対 伊藤 勝美

現在の本市の経済状況は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響も大きく、さらに昨今の急激な物価の高騰もあり、市民生活は大変厳しくなつて いる。

昨年12月定例会で、国民健康保険税の改正による値上げ案が可否同数の上、議長裁決で可決された。

今回、税率改正後の予算案が上程されているが、このことにより国保に加入している被保険者の方々は、経済的に大きな影響を受けることになる。なぜなら、本市の国保加入者の構成をみれば、その多くは会社を定年になつた方や退職された方々、新型コロナウイルス感染症拡大の影響や昨今の物価高騰の影響を大きく受けていると思われる自営業者や農業者、年金で生活をされている方など、比較的所得の低い方々となつているからである。このような方々のことを考え、現在の経済状況等を鑑みると、本案を認めることは到底できないものとして考えざるを得ない。

賛成 佐藤 秀行

本市の国民健康保険税は、平成21年度に増額改定をして以来、令和4年度まで13年もの間、税率を据え置き国保事業を運営してきた。しかしながら昨今、医療の高度化や被保険者の高齢化などに伴い、医療費の支出が増加し、財政調整基金が減少するなど大変厳しい財政運営となっている。

令和5年度の白石市国民健康保険特別会計は、昨年10月に被保険者・保険医・議員などから構成する白石市国民健康保険運営協議会から答申を受けた「白石市国民健康保

政の健全化に向けた方針」に従い、令和4年12月定例会で可決・改正した白石市国民健康保険条例に基づき編成された予算案である。

条例改正により税率は増加しているが、引き続き所得の基準により、2割・5割・7割の軽減が図られるなど、低所得者にも配慮した予算案となっている。

また、一般会計からの繰入金には、保険税の軽減を図ることを目的に、保険基盤安定繰入金や財政安定化支援事業繰入金に加え、令和5年度予算には会計年度任用職員の給与や事務経費にかかる職員給与費等繰入金新たに計上されている。

以上のことから、昨今の厳しい経済状況は承知しているが、国保財政の健全性を保ち、被保険者が安心して生活を送り、将来においても健康を守る上で、今回の予算案は適正なものである。

以上の理由から第35号議案に賛成である。

6月定例会は、6月5日(月) 午前10:00 開会予定です

定例会は、市の予算や条例など、市民の皆さんに深く関わりのある議案が審議されます。本会議の様子はインターネット(YouTube)でライブ配信しています。また、これまでの録画映像もご覧になれます。

<2月定例会・全員協議会>

●傍聴者のべ人数 13人 ●ライブ配信・録画視聴回数 2,414回



第460回 市議会定例会予算審査特別委員会（3月2日） 意見が分かれた議案の賛否一覧

件名	委員氏名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
			高子 秀明	佐藤 龍彦	伊藤 勝美	澁谷 政義	欠 番	沼倉 啓介	高橋 鈍齋	小川 正人	平間 知一	保科善 一郎	佐久間儀 郎	四竈 英夫	大森 貴之	森 建人	角張 一郎	菊地 忠久	佐藤 秀行	松野 久郎
第34号議案 令和5年度白石市一般会計予算	原案可決	×	×	×	○	△	×	×	△	委	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第35号議案 令和5年度白石市国民健康保険特別会計予算	原案可決	×	×	×	×	△	×	×	△	委	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」⇒賛成した委員、「×」⇒反対した委員、「欠」⇒欠席した委員、「委」⇒委員長のため表決に加わらない
 ※予算審査特別委員会は議長を除く全議員で構成される

第460回 市議会定例会（3月10日） 意見が分かれた議案の賛否一覧

件名	議員氏名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
			高子 秀明	佐藤 龍彦	伊藤 勝美	澁谷 政義	欠 番	沼倉 啓介	高橋 鈍齋	小川 正人	平間 知一	保科善 一郎	佐久間儀 郎	四竈 英夫	大森 貴之	森 建人	角張 一郎	菊地 忠久	佐藤 秀行	松野 久郎
第34号議案 令和5年度白石市一般会計予算	原案可決	×	×	×	○	△	×	×	議	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第35号議案 令和5年度白石市国民健康保険特別会計予算	原案可決	×	×	×	×	△	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」⇒賛成した議員、「×」⇒反対した議員、「欠」⇒欠席した議員、「議」⇒議長のため表決に加わらない
 ※第35号議案は採決の結果、可否同数（賛成8反対8）となり、議長裁決により原案可決となった。

**スマートインターチェンジ設置
推進特別委員会中間報告**

令和5年2月13日、(仮称)白石中央スマートインターチェンジ整備および周辺整備の進捗状況について、関係部課長から説明を受け、今後の進め方について協議を行なった。

スマートインターチェンジ整備事業については、用地測量、道路設計が間もなく終了する予定であり、令和5年度から用地契約の手続きに移行する。

周辺整備事業の道の駅部分については、土地開発公社において用地買収を進めており、スポーツ・レクリエーション施設については、都市計画決定に関わる手続きを進めている。

市道整備については、団地内道路の契約率が現在約90%であり、工業団地については、年度内の企業募集に向け、調整していくこと等を確認した。

**市政に
対する一般質問**

〓〓 10名の議員が質問〓〓

2月定例会の一般質問は、3月7日・8日・9日の3日間に行われました。質問の要旨は次のとおりです。

- 佐久間儀郎** 令和5年度施政方針について
- 高子 秀明** 令和5年度施政方針について
- 松野 久郎** 本市の行財政について
- 平間 知一** 白石市立病院について
- 佐藤 龍彦** 子育て応援住宅について
- 大森 貴之** 財政支出金の削減策について
- 森 建人** インボイス制度について
- 四竈 英夫** 本市の森林行政について
- 菊地 忠久** 本市のインフラ整備等について
- 佐藤 秀行** 認知症施策・高齢者支援等について

令和5年度施政方針について

佐久間 儀郎



〔質問〕(仮称)白石中央スマートインターチェンジとその周辺整備事業の効果を最大限享受できるようにするには、国道4号の4車線化延伸が不可欠である。

〔答弁〕(市長)これまでの4車線化延伸要望活動と、事業実現の見通しなど現在の状況を伺う。

〔質問〕(市長)令和4年度に、計画段階評価を進めるための調査を行う区間の指定を受け、調査を進めている。

東北地方整備局では、本年2月1日に、社会資本整備審議会道路分科会の東北地方小委員会が開催され、国道4号白

石市斎川から大平森合

区間の地域課題等の調査状況の報告や、今後行う予定の市民や企業等のアンケートの実施方法等について意見をいただいております。新規事業化に向けて前進しているものと、関係機関の皆様にご感謝している。今後も4車線化事業に向け、引き続き要望活動を行うとともに、関係機関と連携し、国の調査への協力も行ってまいります。

〔質問〕(仮称)白石中央スマートインターチェンジ周辺に整備する「道の駅」と「スポーツ・レクリエーション拠点施設」に

地域の防災拠点としての機能を持たせることで、地域の安全・安心を高めるとしているが、具体設計を伺う。

〔答弁〕(市長)道の駅およびスポーツ・レクリエー

ション施設は、立地条件を生かし、自衛隊、警察、消防など、宿营地復旧のための資機材や生活物資の集積地となる地域防災拠点機能を有する施設の整備を計画している。加えて近隣住民の指定避難所のほか、他の指定避難所が被災し、使用できない場合などの代替避難所、道路利用者などの帰宅困難者の一時避難所としても活用できる施設整備を予定している。

具体的な例として、避難スペースや自衛隊などの集結活動エリアの確保、防災備蓄倉庫や非常用電源、マンホールトイレなどを設置。必要な施設や規模については、PFI事業者募集の際の要求水準書に明示し、具体的な配置計画や設備についての実施計画は、PFI事業者が決まってから行う予定としている。

令和5年度施政方針について

高子 秀明



〔質問〕子ども医療費助成における助成対象年齢拡大の検討と学校給食費無償化に向け、宮城県市長会が国・県に対し財政支援の要望書を提出した後の問いかけについて、今後の取り組みを伺う。

〔答弁〕(市長)子ども医療費助成制度は、本市も18歳までに拡大し助成を行えるよう、既に検討しているが、事業費を試算したところ約2千万円程度が見込まれることから、財源確保に苦慮し、実現には至っていない。国において、全国一律の子育て支援制度として充実させるべきと考える。宮城県市長会等を通じて国に働き

かけを続けていく。

また、学校給食費無償化に取り組む自治体があることは認識しているが、学校給食法第11条で、設置者負担と規定される学校給食センターの人件費や設備修繕費、運営費に加え、原則として保護者負担と規定される児童・生徒の給食に係る食料費、1億3千400万円余りを市単独で継続的に負担していくことは、財源確保の見通しが立たない現状では難しいと考える。学校給食費の無償化は、国の施策として行うべきであると考える。宮城県市長会から財政支援と経費負担を規定する学校給食法の改正について、国に対し要望を続けていく。

〔質問〕(仮称)白石中央スマートインターチェン

ジ周辺整備事業の道の駅の機能のうち、本市名産品や物産販売コーナーも整備されるが、その際、おもしろい市場との競合が懸念される。当該2施設において、農産物等の販売に差別化が図られるのか、構想を伺う。

〔答弁〕(市長)物販施設やレストランについては、おもしろい市場との差別化を図りながらも、連携も必要であると考える。具体的な運営について、

道の駅とスポーツ・レクリエーション施設において、民間のノウハウを最大限生かすため、PFI手法で事業を進める予定であるため、事業者募集の際の要求水準書に、おもしろい市場との差別化と連携について明示し提案を求め、プロポーザル等において総合的に優秀な事業者を選定したいと考える。

本市の行財政について

松野 久郎



〔質問〕本市の財政状況をどのように分析しているか伺う。

〔答弁〕〔市長〕公立刈田総合病院の経営形態の見直しにより、令和5年度から指定管理者制度に移行する。数年はスムーズな移行を進めるよう、給与特例交付金や貸付金などの経営支援を行うため、一時的に歳出は増加するが、病院経営が順調に進んでいけば、これまでのような病院事業に対する多額の繰出金もなくなることから、本市の財政状況も良い方向に進んでいくものと考えている。

◎街路灯と防犯灯について

〔質問〕各地区でも空き家や高齢者世帯が増加する中、防犯灯に係る電気料金は自治会で負担している。昨今の電気料金の高騰を踏まえ、防犯灯においても電気料金高騰分の差額に対する補助金を出すことを求めるが、いかがか。

〔答弁〕〔市長〕本市でも進んでいる人口減少や自治会への加入世帯の減少が、自治会収入の減少につながると思われる、本市全体の課題と捉えている。今後LED化を進めることも、自治会と協議しながら防犯灯の設置箇所、数の見直しなど、自治会の負担を軽減する対策を検討するとともに、国の動向を注視していく。

◎スパシユランド休館に伴う今後の対応について

〔質問〕市内には民間事業者のプールがある。

人口減少の中、新たな市民プールを建設することは、民業圧迫にもつながることも踏まえ、民間事業者のプールをいかに活用させていたどうか、官民連携を模索しながら検討する必要があると思うが、市長の所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕本市としても、児童・生徒が授業等で使用するプールや市民の健康増進の面から、水泳などができるプール施設の確保は必要であると考えており、他自治体の事例を参考に、引き続き検討を行うとともに、新たな市営プールをどのように整備していくのか、民間事業者プールの利活用も含めて総合的に判断していく。

白石市立病院について

平間 知一



〔質問〕現時点で定まっている基本協定の概要について伺う。

〔答弁〕〔副市長〕白石市病院事業の設置等に関する条例が可決されたことから、条例、規則に基づき、手数料、利用料金および手数料の減免等、休診日および外来診療受付時間の変更等の条項を追加している。

また、審査会における協議結果を踏まえ、地域医療確保交付金、給与特例措置交付金、貸付金の条項を追加して、本議会で可決後に協定を締結させていただきたい。

〔質問〕公立刈田総合病院とみやぎ県南中核病院との連携プランは維

持されると考えているのか伺う。

〔答弁〕〔副市長〕現在、仁誠会が運営する病院では、回復期リハビリテーションに対応した診療体制を構築している。

今後、公立刈田総合病院においても、連携プランは維持される見込みである。

〔質問〕現行の診療科を維持するための医療従事者は確保できたのか。また、その人数について伺う。

〔答弁〕〔市長〕基本的に、現行の診療体制の維持に努め、連携プラン推進のために必要な診療科目から段階的に構築する。職種別の医療従事者については、医療法上の配置基準は満たす見込みである。

〔質問〕地域医療を守る人材確保に向けた対応

について伺う。

〔答弁〕〔市長〕指定管理者である仁誠会には、退職する職員で、引き続き公立刈田総合病院で再就職を希望する職員を優先的に採用するようお願いしている。また、給与特例措置交付金として、指定管理の開始から3年間、現給保障金を交付する予定である。

〔質問〕令和5年度の健康診査のお知らせについて、検診ができる医療機関から公立刈田総合病院の記載がなくなっている。人間ドックも調整中となっているが伺う。

〔答弁〕〔市長〕仁誠会からは、検診を実施するとの話を伺っており、今後も刈田病院で検診を行うことと理解している。詳しくは広報しろいし4月号に明記する予定である。

〔健康推進課長〕検診にあたる医療スタッフの人員配置については調整中である。

子育て応援住宅について

佐藤 龍彦



〔質問〕子育て応援住宅は、本市が平成28年に子育て世帯の子育て支援と定住促進のため取得した。しかし、近年は入居率も伸び悩んでいる。現在の子育て応援住宅の入居状況について伺う。

〔答弁〕「建設課長」令和5年2月末現在、全体戸数80戸に対し33戸、入居率41.3%となっている。

〔質問〕入居資格の「義務教育終了前の子どもを1人以上養育していること」という条件を「18歳まで」とすることはできないのか伺う。

〔答弁〕「建設課長」入居資格については、白石市

子育て応援住宅管理条例第6条において「子育て世帯」とし、同条例第2条で「義務教育終了前の子どもを1人以上養育し、かつ居住するための住宅を必要としている世帯」としている。現時点において、入居者等からの要望はないことから、入居資格を18歳までとする改正は考えていない。

〔質問〕今後、どのようにして入居者を確保していく考えなのか伺う。

〔答弁〕「建設課長」入居率向上の取り組みとしては、毎月、広報しろいしへの掲載や、市のホームページ等で周知を行なっているほか、市庁舎内、こじゅうろつキッズランド、おもしろいし市場などの公共施設にも子育て応援住宅

のチラシを配備している。

また、市営住宅などの募集の問い合わせなど、建設課へ来庁された方、電話での問い合わせの際にも、子育て応援住宅の説明を行うなど、PRに努めている。また、住宅管理を委託している民間会社もPRを行なっている。

加えて本年4月の不登校特例校、白石きぼう学園の開校にあたり、他市町からの入居に関する問い合わせも複数件受けており、入居率の向上に期待している。引き続き他自治体の事例などを研究し、住宅管理業者など、民間のノウハウも取り入れながら、入居率の向上に努めていきたい。

その他の質問

◎ごみ出し支援について

◎飼い犬・猫及び鳥類等のふん書の対策について

◎住宅リフォーム助成について

CSN

財政支出金の削減策について

大森 貴之



〔質問〕市道中河原白石沖線の工事において、水道管の移設工事が一体的に行われているが、個別に行われた場合の経費はどの程度差が生じるのか伺う。

〔答弁〕「上下水道事業所長」舗装復旧にかかる経費が担当課間においての工事調整により削減できたと考える。

〔質問〕道路整備工事において、水道管等の更新工事を組み込ませることができれば、予算の二部が削減されると認識してよいのか。

〔答弁〕「上下水道事業所長」そのような箇所が出てきた場合には、削減につながるかと考えている。

〔質問〕近年、衛星写真を利用した漏水診断を用いた方法による漏水対策の実施報告で、愛知県豊田市では漏水箇所の特定作業時における試験掘箇所数の減少や、判定に要する時間の短縮、人件費や工事費用の削減等を挙げている。

本市としてもこの衛星写真を利用するシステムを漏水対策に導入すべきと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕「上下水道事業所長」衛星写真の使用には高額な費用負担が伴うことから、今後、豊田市を含めた他自治体の動向を注視しながら慎重に進めていきたい。

〔質問〕宮城県では各自治体の水道事業における経営の効率化の観点から、水道事業の広域化

を推奨しているが、本市は隣接市町との連携について、どのように考えているのか伺う。

〔答弁〕「市長」現在、宮城県が中心に作成し、今後、公表予定の県の広域化推進プラン五つの方針のもと、広域連携の推進について積極的に進めていきたい。

〔質問〕各部署で連携しながら経費の重なる部分を一緒に行えば削減できるというシステムを構築していただきたいが、見解を伺う。

〔答弁〕「上下水道事業所長」建設工事においては常にコスト意識を持ち、経費削減に努めている。庁舎内、特に建設部とは常に情報共有を行い、埋設管路の情報や建設部事業との事業調整を行なっており、令和4年度には工事担当課間で調整会議を行なったところである。

インボイス制度について

森 建 人



〔質問〕インボイス制度の本市経済への影響をどのように捉えているのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕本年10月1日からインボイス制度が導入されるが、従来、消費税免税事業者であった事業者は、適格請求書、いわゆるインボイスを発行することができず、取引が減少することになるため、課税事業者になることを視野に入れなくてはならなくなる。しかし、課税事業者になることにより、消費税を納税しなければならなくなり、収益が減少することにもなる。仕入れ事業者にとっ

ても、経理業務の煩雑化

やシステム改修などにより、コスト面の負担増加の可能性がある。

また、本年10月1日からインボイスを交付するためには、令和5年9月30日までに登録申請手続きをする必要がある。白石商工会議所が昨年11月から本年1月にかけて、市内小規模事業者を対象に実施したアンケート結果によると、54.5%の事業者が登録済みまたは登録予定と回答している。

〔質問〕市内の免税事業者がどのくらいいるのか伺う。

〔答弁〕〔商工観光課長〕免税事業者の数を把握することは非常に困難である。大河原税務署にも

確認したが、免税事業者は、法人に限らず個人の場合もあることから、その数は見当がつかないとの回答であった。

〔質問〕登録推進について伺う。

〔答弁〕〔市長〕白石商工会議所と連携し、早急の対応が必要となる可能性の高い事業者を優先的に、インボイス制度の内容やその必要性について周知していく。

〔質問〕白石市は登録するのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕一般会計においては、令和4年11月18日付で、令和5年10月1日から登録されることとて通知を受けている。

また、水道事業および下水道事業においては、令和4年3月10日付で、令和5年10月1日から登録されることとて通知を受けている。

本市の森林行政について

四 竈 英 夫



〔質問〕本市では森林アンケート調査を実施したが、どのような実態と問題点があったか伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕調査の結果、半分以上の森林において管理が行われておらず、半分近くの所有者が森林管理を市に委託したいとの意向であった。

〔質問〕このまま手を加えずに経過した場合、どのような状況が予測されるか。

〔答弁〕〔市民経済部長〕国土の保全や資源の涵養(かんよう)、地球温暖化の抑止などのほか、森林の荒廃が懸念される。

〔質問〕今後どのような対策が必要か。

〔答弁〕〔市民経済部長〕

森林環境譲与税を活用し、経営管理集積計画を作成する必要がある。

〔質問〕森林組合との連携も必要ではないか。

〔答弁〕〔市長〕白石蔵王森林組合と連携を図り、市町村森林管理事業による間伐などを進めたい。

◎スポーツ協会への支援について

〔質問〕白石市スポーツ協会は、スポーツの普及振興と健康増進などに寄与する活動を続けている。さらなる活動の充実を図るため、経費などの支援が必要と思われるがいかがか。

〔答弁〕〔教育長〕スポーツ振興に貢献していただいていることに感謝している。そのため協会事務局を生涯学習課が担当し、運営全般の支援を行い、各団体への補助金も支出している。団体の強化を

図るため、今後ともさまざまな支援に努めたい。

〔質問〕全国大会などへの出場経費の補助金の増額などは考えられないか。

〔答弁〕〔市長〕趣旨は理解できるが、一律に全国大会という捉え方は難しい。事前に内容を精査することも必要と考える。

◎中学校の部活動への対応について

〔質問〕中学校部活動の土日・休日を、外部指導者に委託する運動部活動推進事業を試行的に導入したが、効果を伺う。

〔答弁〕〔生涯学習課長〕高い競技経験や指導経験の豊富な人材を確保することができ、高い専門的指導を提供することで生徒の満足度が高く、一定の価値を見出ししている。

◎鶴岡市の土砂崩壊事故について

◎トルコ・シリア大地震に対する支援について
◎火災多発の注意喚起
○○○○

本市のインフラ整備等について

菊地 忠久



〔質問〕令和5年度は本格的に工事に着手することになる(仮称)白石中央スマートインターチェンジとその周辺整備にかける思いを伺う。

〔答弁〕【市長】スマートインターチェンジを活用したまちづくりで成功している実例も多く、スマートインターチェンジの効果を最大限発揮することが、本市のビッグチャンスになると考えている。併せて国道4号の4車線化は、スマートインターチェンジ周辺整備の効果を何倍にもすると考える。本市の立地条件、高速交通網による利便性の良さ、

高速道路と国道4号のダブルネットワークの整備を行なっていくことは結果として「選ばれるまち白石」になると確信している。好立地を生かした新たな工業団地を造成し、企業誘致を加速させることは、雇用の増、固定資産税や法人市民税などの増収により、政策として還元していく好循環を実現していきたい。

〔質問〕住環境が充実していることは大きなセールスポイントとなり、特に安価で優良な宅地の確保に向けた宅地整備は極めて重要な事業であると考えますが、見解を伺う。

〔答弁〕【市長】宅地整備や住む場所の確保は大変重要であると考ええる。一方、

市中心部においては空き地や空き家が増加し、空洞化が進んでいる状況にある。空き地の有効活用や民間活力による整備の可能性を協議していきたい。

〔質問〕(仮称)白石中央スマートインターチェンジと市街地中心部のアクセス向上のため、新たな道路の整備が必要と考えますが、所見を伺う。

〔答弁〕【市長】スマートインターチェンジから中心地へのアクセス向上は、道の駅にアクセスされた方の市中心部への誘導や、工業団地の企業誘致に関しても、大変重要であると考ええる。そのため、工業団地内の市道を先行して整備を進めているが、並行してスマートインターチェンジから白石駅を結ぶ新たな道路整備が可能か検討している。

その他の質問

◎学校連絡アプリについて

認知症施策・高齢者支援等について

佐藤 秀行



〔質問〕本市の現状を踏まえて、認知症に対する認識、理解について伺う。

〔答弁〕【市長】認知症は、日頃の健康管理や適度な運動、生活リズムを整えることにより脳の老化を防ぎ、認知症を防ぐことにつながる。認知症は身近にあり、誰もが関わる可能性がある病気であることから、今後介護予防事業と合わせて、認知症予防事業および理解促進のための普及啓発事業の推進に努める。

〔質問〕高齢者補聴器購入費用助成事業について伺う。

〔答弁〕【市長】高齢者の

聞き取る機能の衰えについては全国的な問題であることから、国・県の動向を注視するとともに、必要に応じ、国の公的補助として制度化いただけたらよい働きかけをしていく。

◎旧白石市老人福祉センターについて

〔質問〕解体の工期予定、解体後の跡地活用について伺う。

〔答弁〕【長寿課長】令和5年度中の完了を予定している。今後、関係部署と協議の上、早めに進める。跡地活用については現時点で未定である。

◎みやぎ蔵王白石スキー場について

〔質問〕令和5年度に予定しているリフト修繕工事の詳細について伺う。

〔答弁〕【商工観光課長】

利用客の安心・安全のため、クワッドリフト、ファミリーリフトのリフトロープのたるみが大きくなっていることから、切り詰めを行い、再度ロープを張り直す工事である。

〔質問〕第2リフトは、平成11年にペアリフトとして設置されてから24年が経過している。このリフトの架け替えについて、改めて市長の見解を伺う。

〔答弁〕【市長】建設から24年が経過し、部品の製造中止などにより、今後のメンテナンスが難しくなることが予想され、架け替え工事が必要なのは十分承知している。工事には多額の費用を要することから、市単費での実施は難しい状況である。これまでのスキー場の整備に活用してきた辺地対策事業債について、再度県と協議を行なっていきたい。

人事

2月定例会において、次のとおり選任・推薦することに同意しました。

〔固定資産評価審査委員会委員〕

〔任期〕令和5年3月27日～令和8年3月26日

小関 市次郎 氏

齋藤 信子 氏

日下 功男 氏

〔人権擁護委員〕

〔任期〕令和5年7月1日～令和8年6月30日

半澤 美智子 氏

〔任期〕令和5年7月1日～令和8年6月30日

〔任期〕令和5年7月1日～令和8年6月30日

意見書

定例会最終日(3月10日)、議員提案として次の意見書が上程され、採決の結果、全会一致で可決されました。

意見書は関係機関に送付されました。

◎学校給食費の無償化を求める意見書(概要)

新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵略等の影響により物価は高騰し、家庭の経済的負担を軽減する必要性が高まっている。

学校給食費においては、親の経済格差や自治体の財政格差により、差が生まれないよう国が責任を持つて学校給食を無償で提供することが求められていると考える。

よって、子育て世帯の経済的負担の軽減および学校における食育の推進を図るため、学校給食費の無償化を迅速に実施することについて、関係大臣および国会に意見書を提出しようとするものである。

◆◆◆ 令和4年 議会の活動状況 ◆◆◆

令和4年は、4回の定例会(2月・6月・9月・12月)と2回の臨時会(4月・11月)が開催されました。その概要は次のとおりです。

◎議会の開催状況

会議名	招集回数	会期日数
定例会	4回	74日
臨時会	2回	2日

会議名	開催日数	会議名	開催日数
本会議	23日	予算審査	5日
		決算審査	2日
議会運営委員会	22日	スマートインターチェンジ設置推進	3日
常任委員会	6日	議員定数・報酬検討	12日
		議会広報委員会	8日
		議会改革推進会議	1日
厚生文教	3日	政策企画調整会議	12日

◎提出議案の状況

[単位: 件]

市長提案議案							
条例	予算	人事	契約	専決	決算	その他	計
27	34	2	0	15	2	33	113

議員提案議案				
条例	意見書	決議	その他	計
1	5	1	0	7

請願
0

◎議案等の議決状況

[単位: 件]

原案可決	同意	認定	承認	採択	不採択	否決	継続審査	計
100	2	1	15	0	0	1	1	120

◎議会の傍聴者数

男	女	計
55人	11人	66人

編集後記

これまで白石市外一町組合が運営してきた公立刈田総合病院は、4月1日から白石市立病院として指定管理者制度を導入し新たなスタートを切りました。

2月定例会において関係予算は議決されましたが、今後はこれまで以上に持続可能な医療体制の構築が求められ、安定的な公共サービスの継続と病院事業を両立できるよう、議会としてもしっかりチェックしていかなければなりません。

残す議員任期もあとわずかとなりました。今後とも市議会だよりを通じて、議会の情報発信に努めてまいります。

議会広報委員会

高橋 鈍 斎

議会広報委員会 委員

委員長	四竈 英夫
副委員長	平間 知一
委員	大森 貴之
委員	佐藤 龍彦
委員	伊藤 勝美
委員	高橋 鈍斎
委員	高子 秀明
委員	森 建人
委員	角 張一郎